



沖縄地区税関 管内貿易概況(速報)

令和7年3月分

(増減・伸率は対前年同月比)

●今月のポイント

●輸出

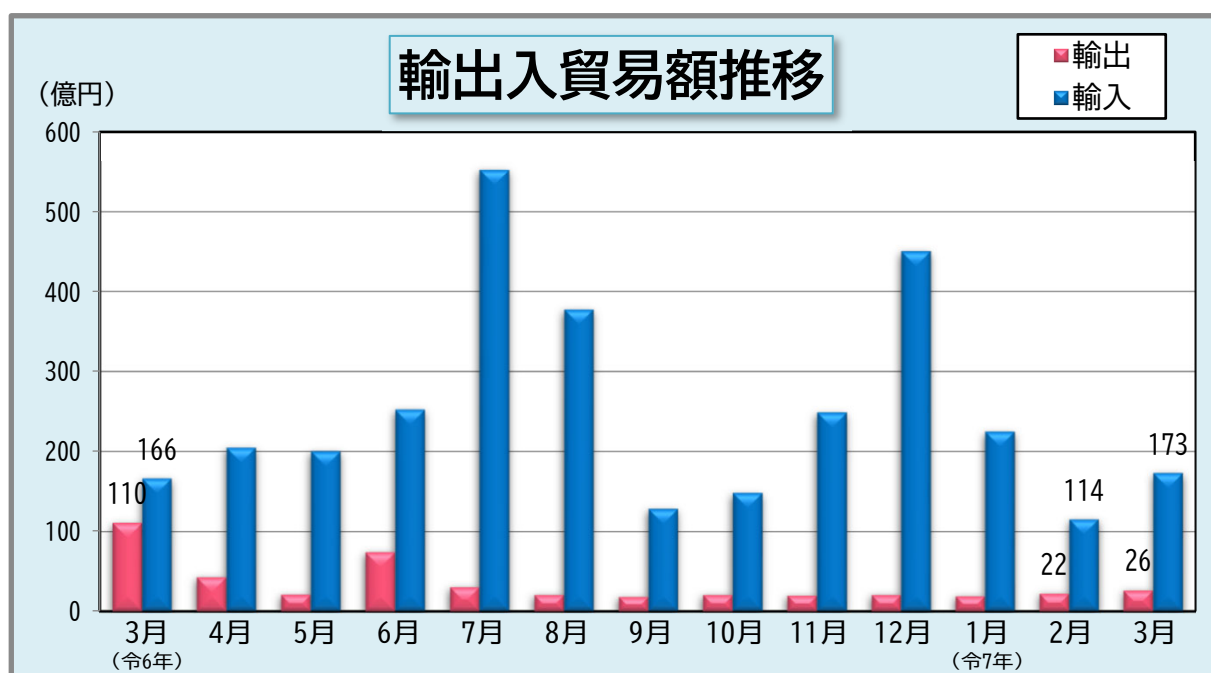
- ・輸出総額は26億31百万円、対前年同月比76.2%減(2カ月ぶりの減少)
- ・主な減少品目は「再輸出品」(▲95.3%)、「金属鉱及びくず」(▲9.3%)、「飲料」(▲11.2%)
(主な増加品目は「精密機器類」(403.9倍)、「鉄鋼」(14.9倍)、「その他の雑製品」(4.4倍))
- ・国(地域)別構成比はシンガポール(21.0%)、台湾(20.7%)、コスタリカ(14.5%)

●輸入

- ・輸入総額は172億69百万円、対前年同月比4.2%増(2カ月ぶりの増加)
- ・主な増加品目は「石油製品」(18.4%)、「電気機器」(2.2倍)、「その他の雑製品」(35.9%)
(主な減少品目は「一般機械」(▲41.1%)、「肉類及び同調製品」(▲30.0%)、「バッグ類」(▲49.6%))
- ・国(地域)別構成比は中国(33.2%)、アメリカ(11.7%)、韓国(10.3%)

●差引

- ・差引額は146億38百万円の入超(前年同月は55億28百万円の入超)



1. 輸出動向

(1) 主要品目別動向

品名（金額・伸率）		構成比	主要国（地域）（金額・伸率）
1	一般機械 （4億99百万円、0.7%）	19.0%	シンガポール（2億36百万円、82.9%） アメリカ（1億2百万円、2.4倍）
2	再輸出品 （4億41百万円、▲95.3%）	16.8%	シンガポール（2億44百万円、2.2倍） アメリカ（1億8百万円、27.7%）
3	精密機器類 （3億83百万円、403.9倍）	14.5%	コスタリカ（3億82百万円、全増）
4	鉄鋼 （3億54百万円、14.9倍）	13.5%	台湾（3億54百万円、14.9倍）
5	金属鋳及びくず （2億61百万円、▲9.3%）	9.9%	ベトナム（1億78百万円、10.2倍） 韓国（57百万円、▲74.4%）
増加品目（増加額・伸率） 1 精密機器類（+3億82百万円、403.9倍） 2 鉄鋼（+3億31百万円、14.9倍） 3 その他の雑製品（+32百万円、4.4倍） 主な増加国（地域） コスタリカ 台湾 香港			
減少品目（減少額・伸率） 1 再輸出品（▲90億40百万円、▲95.3%） 2 金属鋳及びくず（▲27百万円、▲9.3%） 3 飲料（▲20百万円、▲11.2%） 主な減少国（地域） フィリピン、イギリス 韓国、マレーシア オーストラリア、台湾			

(2) 主要国（地域）別動向

国（地域）名（金額・伸率）	構成比	主要品目（金額・伸率）
1 シンガポール （5億53百万円、99.2%）	21.0%	再輸出品（2億44百万円、2.2倍） 一般機械（2億36百万円、82.9%）
2 台湾 （5億45百万円、56.6%）	20.7%	鉄鋼（3億54百万円、14.9倍） パルプ及び古紙（81百万円、▲16.2%）
3 コスタリカ （3億82百万円、全増）	14.5%	精密機器類（3億82百万円、全増）

2. 輸入動向

(1) 主要品目別動向

品名（金額・伸率）		構成比	主要国（地域）（金額・伸率）
1	石油製品 （55億27百万円、18.4%）	32.0%	中国（40億9百万円、34.7%） 韓国（15億14百万円、▲10.5%）
2	石炭 （28億18百万円、3.4%）	16.3%	インドネシア（12億56百万円、全増） オーストラリア（12億26百万円、▲19.0%）
3	一般機械 （11億46百万円、▲41.1%）	6.6%	カナダ（5億75百万円、▲44.7%） アメリカ（2億99百万円、▲47.8%）
4	その他の雑製品 （10億90百万円、35.9%）	6.3%	フランス（2億98百万円、17.0%） イタリア（2億63百万円、52.2%）
5	電気機器 （9億30百万円、2.2倍）	5.4%	中国（5億76百万円、5.0倍） アメリカ（1億65百万円、6.5%）
増加品目（増加額・伸率） 1 石油製品（+8億57百万円、18.4%） 中国 2 電気機器（+5億7百万円、2.2倍） 中国、韓国 3 その他の雑製品（+2億88百万円、35.9%） アメリカ、イタリア			
減少品目（減少額・伸率） 1 一般機械（▲8億円、▲41.1%） カナダ、アメリカ 2 肉類及び同調製品（▲3億10百万円、▲30.0%） デンマーク、オーストラリア 3 バッグ類（▲1億92百万円、▲49.6%） イタリア、ベトナム			

(2) 主要国（地域）別動向

国（地域）名（金額・伸率）	構成比	主要品目（金額・伸率）
1 中国 （57億33百万円、34.2%）	33.2%	石油製品（40億9百万円、34.7%） 電気機器（5億76百万円、5.0倍）
2 アメリカ （20億24百万円、56.6%）	11.7%	果実及び野菜（3億39百万円、3.0倍） 石炭（3億36百万円、全増）
3 韓国 （17億75百万円、▲6.2%）	10.3%	石油製品（15億14百万円、▲10.5%） 電気機器（1億10百万円、3.6倍）

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
 - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
 - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課

沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号 那覇第2地方合同庁舎3号館7階

TEL. 098-862-9650

